□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名　グループホーム総社　※

日　付　平成16年12月13日

評価機関名　社会福祉法人　岡山県社会福祉協議会

評価調査員　①老人保健施設での相談援助業務歴　5年
②特別養護老人ホームでの介護歴　15年

自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）

評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）

事業者のコメントを見る
（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）※

外部評価の結果

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

ホーム全体が落ち着いた雰囲気であり、それぞれの入居者が自分自身の時間を大切に過ごしておられるように感じられました。

スタッフの言葉、行動ともに指示的なところは見られず、常に一歩後ろから見守っておられました。ホームの共有場所（リビング・ダイニング等）も普通の家庭の居間のような空間でした。

特に改善の余地があると思われる点

・職員の服装が、上は赤のポロシャツ、下は紺色のジャージとなっており、入居者は自由で落ち着いた服装をしておられたので違和感が感じられました。職員の皆さんで意見交換をされてみてはいかがでしょうか。

・職員の日中の配置数が、２名～３名であり、緊急時等の対応が懸念されます。

・食堂近くのトイレの入り口がカーテンですが、検討が必要ではないでしょうか。

Ⅰ　運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	・理念はスタッフ自身の思いから作られたものであり、特に地域と共存したいとの考えから積極的に取り組んでおられます。（具体的には、町内会に入って地域の一員として努力している、また散歩時に積極的に地域の人へ声かけをするなどを実践されています。） ・入居者の自立心を大切にしており、自分で出来ることは出来るだけ行ってもらい、スタッフは口も手も出さないことを実践しています。そのことによって入居者自身が人の役に立つ喜び、人に頼られていることの喜びを感じられるような援助をしています。		

Ⅱ　生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	暖かい雰囲気を作り、出来るだけ家庭と同じ空間作りに心がけている様子がうかがわれました。建物内の環境は普通の家庭を意識した設定を心がけられており、特に食堂、リビングは壁や天井等に木をふんだんに使用し、心休まる空間となっていました（ただし、床は長尺シートであった）。また、リビングの和室の空間も洗濯たたみなどに利用されており、上手く空間の利用をされているように感じられました。		

Ⅲ　ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

Ⅲ　ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	入居者の得意なこと、好きなことが普通の家庭生活の家事などで生かすことができ、それによって人の役に立つ喜びを感じられるような援助をされていました。		

Ⅳ　運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	個人の持っている能力、気持ち等を大切にし、自分らしく生活できるよう援助しています。今出来ることを少しでも長く維持し、入居者自身も他の人を援助しているという気持ちが持てるようになってもらいたいと願っています。また問題が発生した場合でも、職員全体や家族、本人とよく話をし、管理的にならないような解決方法を模索している様子でした。		